



第27回 中小企業優秀新技術・新製品賞

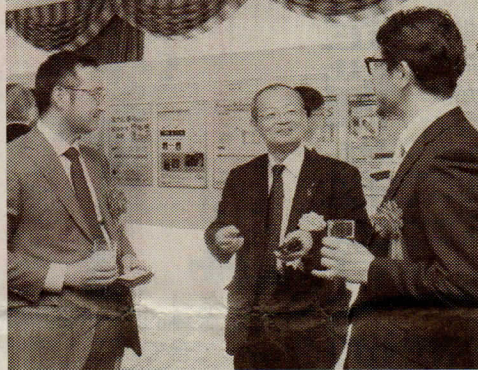
技術で社会に奉仕

りそな中小企業振興財団と日刊工業新聞社は9日、「第27回中小企業優秀新技術・新製品賞」の贈賞式後、レセプションを開いた。北川慎介中小企業庁

喜びの声

長官が「中小企業が起すイノベーションがないと日本経済は前進しない。技術の最先端を走る受賞者に敬意を表したい」とあいさつした後、受賞者らは和やかに懇談した。

(1面参照)



歓談する受賞者ら

3年前にも賞を得たシヤパンプローブ(横浜市南区)の小倉幸夫社長は「超音波による航空機検査用プローブも、前回と同じく全従業員の知恵が生んだもの。今後も従業員とともに世界に羽ばたく企業を目指す」と強調。超音波バリ取り洗浄装置のブルー・スターR&D(相模原市中央区)の柴野佳英会長は「受賞は技術の可能性に共鳴した

てもらったもの。今回のコア技術を軸にさらなるビジネスを展開したい」と意気込んだ。

コスメディ製薬(京都市南区)は生体溶解型マイクロニードル化粧品で受賞。神山文男社長は「有効成分を超微細に加工するマイクロニードル技術はまだ知名度が低い。受賞を機にPRに励めば、いろんな分野に応用ができる」と展望。作動油が自動循環し、内部が冷却される油圧シリンダーを開発した南武(東京都大田区)の野村伯英社長は「製品で『技術を以って社会に奉仕する』という社是を体現した」と目を輝かせた。

誰でもマニュアルを作れ、共有できるツール「Teachme Biz」でソフトウェア部門優秀賞を受賞したスタディスト(同千代田区)の鈴木悟史社長は「努力が社会的に評価され、事業活動の大きな追い風になる」と期待を込めた。